



Since 1955
Chofu City
Tokyo



調布市 環境基本計画

概要版

平成28(2016)年度 ▶ 平成37(2025)年度



調布市

基本理念と目指す環境の将来像

計画策定の背景

調布市環境基本計画(平成18(2006)年度～平成27(2015)年度)の取組を継承しつつ、社会情勢等の変化及び計画策定の5つの新たな視点^{*1}等を踏まえ、市民・市民団体・事業者等との協働により本計画を策定しました。

調布市環境基本計画

平成28(2016)年度～平成37(2025)年度

■ 社会情勢等の変化

- 地球環境全体を視野に入れた取組
- 持続可能な社会の形成等

■ 様々な市民参加手続

- 各種アンケート調査
- 各種意見聴取
- ワークショップ等

■ 5つの視点^{*1}

- 気候変動への対応
- 都市の魅力の向上
- 東京オリンピック・パラリンピックへの対応
- 大規模プロジェクトとの連携
- 価値観や生活様式の多様化への対応

■ 調布市環境基本計画の取組

平成18(2006)年度～平成27(2015)年度

計画が担う役割

本計画は、市が目指す環境の将来像を明らかにし、環境に関する目標及び施策の方向性を示し、その実現に向けて、具体的な取組を総合的かつ横断的に推進を図ることで、実効性をあげる役割を担います。

基本理念・目指す環境の将来像

環境は長い歳月をかけて育むべきものであり、より良い環境の保全と回復に向けた取組を長期的な視点を持って推進して行く必要があります。本計画における基本理念と目指す環境の将来像は、次のとおりです。

基本
理念

「持続可能な人間社会の存続とすべての生き物が
共存する地球、地域環境を保全・回復・創出する」

目指す
環境の
将来像

未来に続く、緑と水あふれるほっとするまち 調布
ー 私が守る地球、私が育む調布の自然と暮らしー

調布市環境基本計画の施策体系

本計画では、目指す環境の将来像の実現に向けて、以下に示す5つの基本目標を定め、その達成のために、22の施策に基づく取組を推進して行きます。



[目指す環境の将来像]

未来に続く、緑と水あふれるほっとするまち 調布 — 私が守る地球、私が育む調布の自然と暮らし —

基本目標 1 豊かな緑と水や多様な生物を育むまち

※環境指標等に記載している「H26」等の年数表記は、「平成26年度」等の略称で、年度を示しています。

方針 1 - (1) 緑と水の保全・再生

施策 1 - ① 緑の保全

取組の内容

- 調布を特徴づける緑の保全と維持管理の推進
- 湧水・河川等の水辺環境との一体的な保全

主な環境指標

公共が保全する緑の面積*

〔 基準値 146.63 ha (H26)
目標値 149.85 ha (H37) 〕

※市や東京都が管理する公遊園・緑地・緑道・崖線樹林地及び民間が所有する緑地に対し市が補助している保全地区



雑木林ボランティア講座の様子

施策 1 - ② 水辺環境の保全・再生

取組の内容

- 雨水浸透の推進による湧水保全及び河川水源の涵養
- 健全な水循環の形成に向けた啓発
- 開発事業等における地下水・湧水保全への配慮
- 市民等との協働による水辺環境の維持管理

環境指標

浸透設備等の設置による
雨水の浸透能力

〔 基準値 66,828m³/h (H26)
目標値 115,600m³/h
(H26～H37の累計) 〕



野草園前の湧水

施策 1 - ③ 里山環境の維持・保全

取組の内容

- 農地の保全に向けた仕組みづくり
- 里山環境の総合的な維持・保全と活用

主な環境指標

市民と協働で保全活動を行う
崖線の箇所数

〔 基準値 5箇所 (H26)
目標値 8箇所 (H37) 〕



里山の風景（深大寺南町）

方針 1 - (2) 生物多様性の保全・活用

施策 1 - ④ 生物の生息空間の保全

取組の内容

- 生物多様性の保全に向けた総合的な取組の推進
- 生態系ネットワークの形成
- 在来種の保護及び特定外来生物（植物）の駆除
- 生物に関する基礎資料のデータベース化に向けた仕組みの検討

主な環境指標

自然環境調査の実施回数

〔 基準値 7回* (H26)
目標値 63回 (H28～H37の累計) 〕

※ 3年に1回の湧水調査を含む



多摩川での特定外来生物（植物）の駆除活動

施策 1 - ⑤ 多様な自然環境の活用

取組の内容

- 緑や水辺環境におけるふれあい学習の推進
- 自然環境の活用

主な環境指標

自然観察会の実施回数

〔 基準値 7回 (H26)
目標値 70回 (H28～H37の累計) 〕



多摩川での水辺の楽校の様子

基本目標2 人と環境が調和する快適で美しいまち

方針2-(1) 美しい街並みの形成

施策2-① 景観形成の推進

取組の内容

- 自然の眺望を活かした都市景観づくり
- 調和のとれた街並みの形成
- 洗練された街並みの保全・創出

主な環境指標

無電柱化道路延長

〔基準値 0m (H26)
目標値 1,380m
(H28~H37の累計)〕



国分寺崖線(若葉町三丁目第1緑地)

施策2-② 歴史・文化環境の保全・継承

取組の内容

- 歴史・文化環境の保全・継承
- 歴史・文化を活かした景観づくりの推進

環境指標

調布には優れた景観があると思う市民の割合

〔基準値 84.3% (H26)
目標値 85.0% (H30)〕



深大寺城跡(深大寺元町)

方針2-(2) 快適な空間の確保

施策2-③ まちのうるおいの創出

取組の内容

- 緑が豊かな環境づくり
- 公園・緑地等の適正配置と維持

主な環境指標

花いっぱい運動の実施箇所数

〔基準値 34箇所 (H26)
目標値 51箇所 (H37)〕



花いっぱい運動で彩られた花壇
(みなみの公園)

施策2-④ 都市美化の推進

取組の内容

- 公衆マナーの順守を目指した意識啓発
- 市民参加による美化活動の推進
- 美化対策の推進

主な環境指標

美化推進重点地区数

〔基準値 7地区 (H26)
目標値 11地区 (H37)〕



調布駅前クリーン作戦

🏠 基本目標3 安心して暮らせる生活環境が確保されるまち

方針3-1) 公害のない環境の維持

施策3-① 大気汚染の防止

取組の内容

- 事業活動に伴う大気汚染の防止
- 自動車排出ガスによる大気汚染の防止
- 微小粒子状物質(PM2.5)による環境汚染への対応
- 悪臭・臭気等の発生防止

主な環境指標

二酸化窒素(NO₂)^{※1}の環境基準^{※2}の年間未達成日数

〔基準値 1日(H26)
目標値 0日(H37)〕

※1 平成26(2014)年度までは、二酸化窒素(NO₂)と浮遊粒子状物質(SPM)については下石原交差点において常時測定を行っていたが、工事のため測定局を撤去したため、平成27(2015)年度からは、四半期毎に1週間の連続した測定を行い、評価を行っている。

※2 1時間値の1日平均値が0.04ppm から0.06ppm内又はそれ以下であること。



市庁舎屋上の大気汚染測定局

施策3-② 水質汚濁の防止

取組の内容

- 工場排水の水質汚濁負荷の低減
- 家庭における生活排水対策の推進

環境指標

雨天時における処理場を含む各吐口からの放流水のBOD値(平均放流水質)

〔基準値 40mg/L以下^{*}(H26)
目標値 40mg/L以下^{*}(H37)〕

※下水道法施行令による基準値



河川水質調査の様子

施策3-③ 騒音・振動の発生抑制

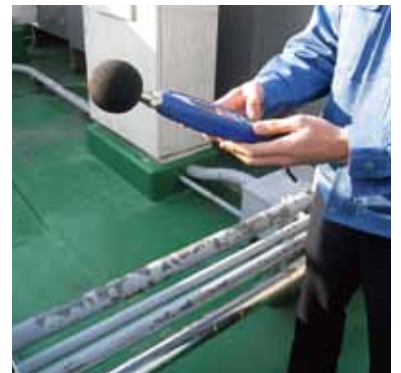
取組の内容

- 事業活動に伴う騒音・振動の発生抑制
- 道路交通騒音・振動の発生抑制
- 生活騒音の発生抑制

主な環境指標

道路交通騒音の要請限度数値の未達成地点数

〔基準値 1地点(H26)
目標値 0地点(H37)〕



騒音測定の様子

施策3-④ 化学物質等の対策の推進

取組の内容

- 有害化学物質による汚染の防止
- 化学物質に関するリスクコミュニケーションの推進
- 地下水保全に向けた調査・規制
- 放射線等に関する情報の蓄積・提供

環境指標

空間放射線量の測定監視回数及び除染基準を超えた回数

〔基準値 年間120回[0回][※](H26)
目標値 年間120回[0回][※](H37)〕

※〔 〕内は除染基準を超えた回数



空間放射線測定の様子

基本目標 4 低炭素で循環型の社会の形成を目指し実現するまち

方針 4 - (1) 低炭素まちづくりの推進

施策 4 - ① 省エネルギーの推進

取組の内容

- 住居の省エネ化及び家庭における省エネ行動の普及推進
- 公共施設や事務所等における省エネルギーの推進
- 低燃費車等の利用及びエコドライブ普及の啓発

主な環境指標

街路灯のLED化

〔基準値 0 m^{*} (H26)
目標値 1,380 m^{*}
(H28~H37の累計)
※街路灯をLED化した道路整備距離数〕



親子エコ・クッキング講座

施策 4 - ② 再生可能エネルギー等の活用推進

取組の内容

- 再生可能エネルギー利用設備等の導入推進
- 再生可能エネルギー等の活用に向けた調査・研究

主な環境指標

公共施設に設置した太陽光発電システムの公称最大出力

〔基準値 993.8 kW (H26)
目標値 1,043.5 kW (H37)〕



調布市多摩川自然情報館の壁面に設置された太陽光発電パネル

施策 4 - ③ 環境に配慮したまちづくり

取組の内容

- 緑を活かした地球温暖化への対応
- 交通体系の低炭素化
- エネルギーの有効利用の推進

主な環境指標

市域から排出されるCO₂排出量(参考指標)

〔基準値 829 kt-CO₂ (H24)
目標値 705 kt-CO₂ (H35)〕



東部公民館のグリーンカーテン

施策 4 - ④ 地球温暖化への適応

取組の内容

- 地球温暖化に関する情報の提供
- ライフスタイルによる適応
- 気候変動に伴う異常気象への適応

主な環境指標

地球温暖化に係る情報提供数

〔基準値 25回 (H26)
目標値 28回 (H37)〕

方針 4 - (2) 循環型まちづくりの推進

施策 4 - ⑤ 3R推進によるごみの減量

取組の内容

- ごみの発生抑制に向けた啓発
- 市民・事業者の自主的な取組の支援

環境指標

市民一人一日当たりの家庭系ごみ排出量

〔基準値 389.7 g/人日 (H26)
目標値 380 g/人日^{*} (H34)〕
※目標値は「調布市一般廃棄物処理基本計画」による。

リデュース・リユース・リサイクル(3R)キャンペーンマーク(リデュース・リユース・リサイクル推進協議会)



ごみの量を減らそう・繰り返し使おう・資源として活かそう

施策 4 - ⑥ ごみの適正処理

取組の内容

- ごみの安定処理の確保
- 不法投棄対策の充実

主な環境指標

最終処分量(埋立量)

〔基準値 0 (H26)
目標値 0^{*} (H34)〕

※目標値は「調布市一般廃棄物処理基本計画」による。



ごみの収集作業

基本目標5 みんなの力でより良い環境を目指すまち

方針5-1 環境情報の整備・共有

施策5-1 環境情報の集約・活用・発信

取組の内容

- 環境情報の集約・活用
- 環境情報の提供
- 環境情報発信の検討

環境指標

市報や環境年次報告書等による環境情報の提供回数

〔基準値 104回(H26)
目標値 115回(H37)〕



ちょうふ環境にゆ〜す、
環境年次報告書及び同概要版

方針5-2 環境活動を担う人材の育成

施策5-2 活動を継続する担い手の育成と啓発活動の推進

取組の内容

- 学校での環境教育の推進
- 地域での環境学習の支援
- 環境についての伝承や活動をリードする人材の育成
- 市民意識の高揚のためのイベント・キャンペーンの実施
- 小中学生などに適した啓発活動の実施

主な環境指標

調布子どもエコクラブ
加入者数

〔基準値 55人(H26)
目標値 500人*
(H28~H37の累計)〕

※年間原則定員は50人



調布子どもエコクラブ
(野川での生き物調べ)

方針5-3 連携・協働の基盤づくり

施策5-3 市民・事業者・市等の連携強化

取組の内容

- 環境保全活動の拠点となる場の提供
- 活動支援のための制度・仕組みづくり
- 環境保全活動の環(わ)の拡大

環境指標

環境連携事業数

〔基準値 58回(H26)
目標値 580回
(H28~H37の累計)〕



環境活動交流会の様子

重点プロジェクト

本計画では、計画期間内に特に重点的に取り組む主要な課題について、以下の選定基準によって施策・事業を抽出し、3つの重点プロジェクトとして位置付け、前期5年間を目途に計画的かつ効率的に施策の成果向上につながるよう実行して行きます。

〈重点プロジェクトの選定基準〉

- 1 時代背景を踏まえ、緊急性があり、かつ、優先的な取組が必要である事業
- 2 市民から強く求められている事業(社会的な要請が強い事業)
- 3 事業効果が高い事業
- 4 市民・市民団体・事業者・市の連携・協働により推進される事業

〈目指す環境の将来像〉

未来に続く、緑と水あふれるほっとするまち 調布
— 私が守る地球、私が育む調布の自然と暮らし —

重点プロジェクト

1

市民の心の安らぎ
緑と水を守る
プロジェクト

2

みんなで目指す
環境先進都市
プロジェクト

3

みんなが主役
環境を学んで楽しむ
プロジェクト

施策と有機的な連動

5つの基本目標

1

豊かな緑と水や
多様な生物を
育むまち

2

人と環境が
調和する快適で
美しいまち

3

安心して暮らせる
生活環境が
確保されるまち

4

低炭素で循環型の
社会の形成を目指し
実現するまち

5 みんなの力でより良い環境を目指すまち

目指す環境の将来像の実現に向けた取組のイメージ

重点プロジェクト1 市民の心の安らぎ 緑と水を守るプロジェクト

調布市で生活する私たちにとって、かけがえのない国分寺崖線を始めとする緑や、多摩川、野川等の河川、崖線などから湧き出る湧水、そこに生息・生育する多様な生き物などの自然を守るため、右の事業に取り組みます。

〈目標〉

- 1 調布の特徴であり、かけがえのない環境資源である貴重な緑と水を引き続き保全します。
- 2 豊かな緑と水により、多種多様な生き物の命の育みを守ります。

〈重点事業〉

- 崖線樹林地等の公有化・保全管理
- 協働による緑の保全のための仕組みづくりの検討
- 市民団体を交えた崖線樹林地の保全管理計画の策定
- 雨水浸透設備・雨水貯留設備の設置及び雨水利用の推進
- 計画区域内の生産緑地等の維持のための制度の検討
- 生態系の維持・回復
- 自然環境情報のデータベース化に向けた仕組みづくりの検討

※計画区域…「調布市深大寺・佐須地域環境資源保全・活用基本計画」で定めた対象区域

重点プロジェクト2 みんなで目指す 環境先進都市プロジェクト

私たちの日常生活や事業活動に伴う環境への負荷が地球温暖化の要因となり、気候変動に大きく影響していることを踏まえ、まちづくりの視点から右の事業に取り組みます。

〈目標〉

- 1 省エネ・節電行動を市民・事業者・市が積極的に行うとともに、再生可能エネルギーによるエネルギーの地産地消や自立に向けた機運を街全体で高めていきます。
- 2 CO₂の削減に取り組む一方、進行する地球温暖化に伴う気候変動の適応への取組を進めます。
- 3 貴重な資源を守るため、更なるごみの発生抑制に取り組みます。

〈重点事業〉

- 家庭における省エネ型機器の普及啓発
- 省エネ・節電の啓発
- 低燃費車等の利用啓発
- 住宅における太陽光発電システム等の導入に対する普及啓発
- 低炭素まちづくりに向けた地域エネルギー利用効率化の検討
- 事業所・家庭へのエネルギー管理システム(BEMS, HEMS)の設置支援等の検討
- 豪雨対策の検討
- ごみの発生抑制に向けた市報・市ホームページ・広報誌等による意識啓発・情報提供

重点プロジェクト3 みんなが主役 環境を学んで楽しむプロジェクト

これまで市民・市民団体・事業者等が、市と連携・協働して進めてきた環境保全活動の環を広げて行くため、人材育成・活動支援等に関する右の事業に取り組みます。

〈目標〉

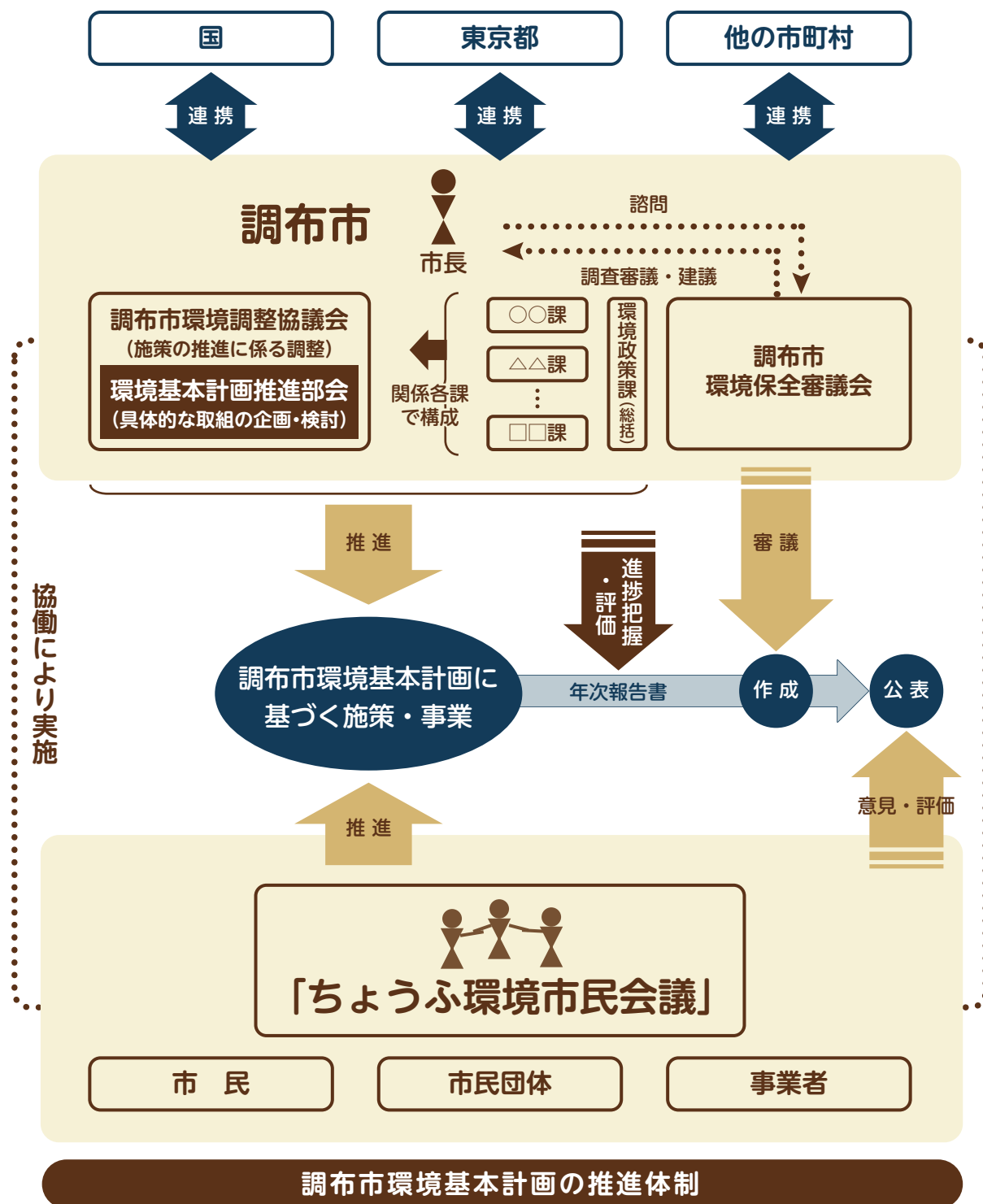
- 1 市が発信する環境情報をもとに全ての人が、積極的にその情報を共有します。
- 2 環境教育・環境学習を通じて、全ての人が楽しみながら環境を学び、持続可能な社会づくりに向けて進んでいきます。

〈重点事業〉

- 自然環境情報のデータベース化に向けた仕組みづくりの検討
- 新たな環境情報発信方法の検討
- 幅広い市民を対象とした環境イベントの開催
- 雑木林ボランティア講座の実施による人材育成講座の実施
- 環境リーダー等育成のための仕組みづくりの検討
- 小中学生等への環境活動機会の提供
- 環境活動ボランティア支援の仕組みづくりの検討
- 市民団体等が主体となって環境活動を実施する仕組みづくりの検討

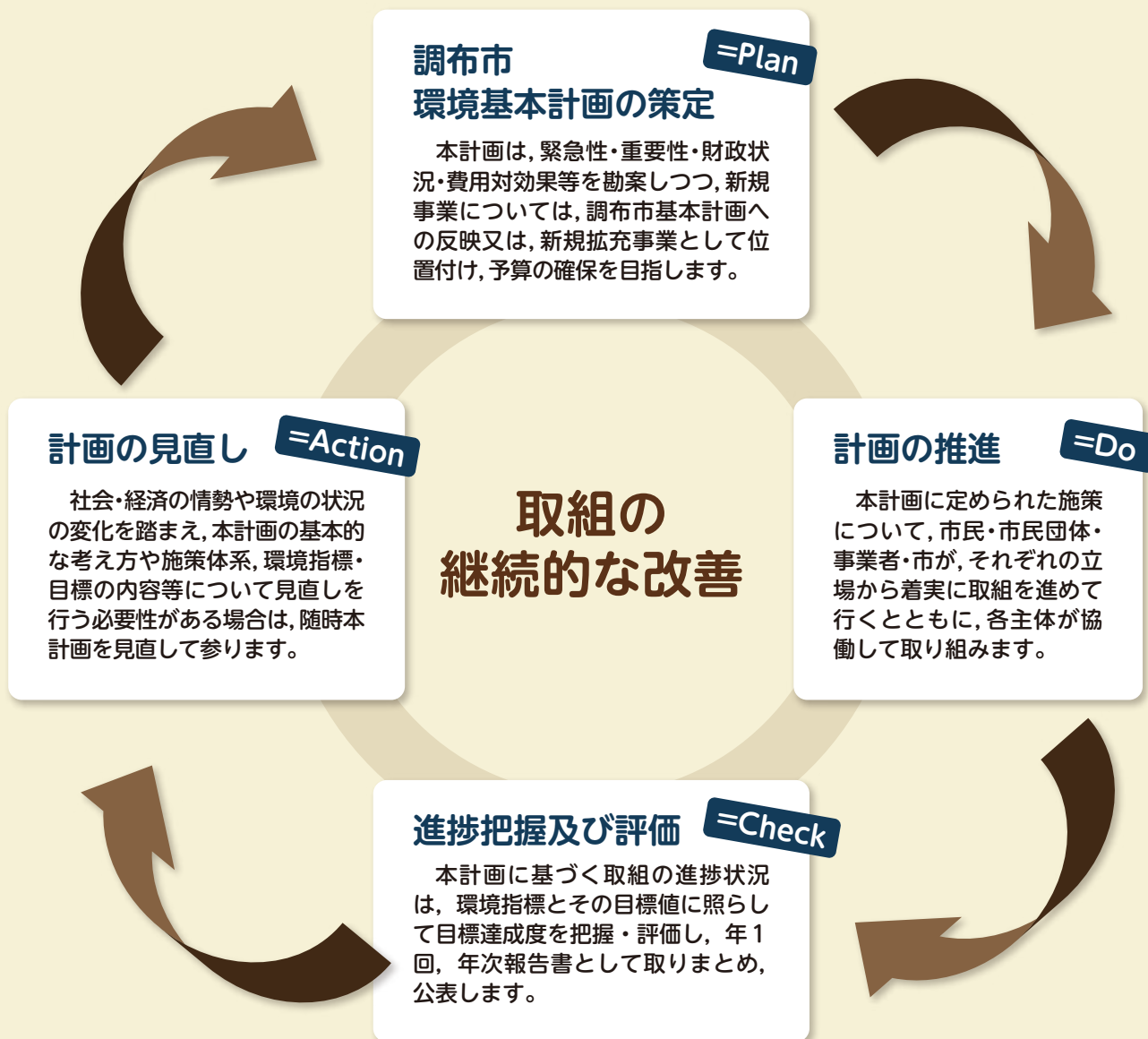
この計画はみんなで進めていきます！

調布市が目指す環境の将来像「未来に続く、緑と水あふれるほっとするまち 調布」の実現に向けて、本計画の着実な推進を図るためには、市民・市民団体・事業者・市といった、それぞれの主体がお互いの役割を理解するとともに、自主的・主体的に自らができること、協力していくことを理解して行動することが大切です。このため、下図に示す体制で各主体が連携し、パートナーシップを発揮しながら協働して計画の推進に当たります。



本計画は、毎年度、庁内関係各課において点検した所管の施策の進捗状況等について、環境年次報告書としてとりまとめます。

計画の進行管理は、以下の流れで環境マネジメントシステム(EMS)のPDCAサイクルに基づき実施し、継続的な改善を図ります。



PDCAサイクルによる進行管理のイメージ

調布市環境基本計画

— 概要版 —

発行 平成28年3月

調布市環境部環境政策課

〒182-8511東京都調布市小島町2-35-1

TEL:042-481-7086・7087(直通)

FAX:042-481-7550

E-mail:kankyoku@w2.city.chofu.tokyo.jp

登録番号
(刊行物番号)

2015-253